

## 読書活動の充実



◇魅力ある学校図書館づくり



◇人のいる学校図書館

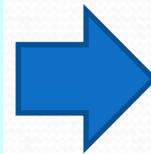
## 日常的な言語活動・言語環境の充実

### ◇下田小版ノート指導術

～学習の足跡から自分の考えを記すノートへ～

#### 【共通実践】

- ①日付を書く。
- ②本時の課題・単元名  
を心を込めて書く。
- ③分かったことを書く。



#### 【考えを記す ノート指導】

- ⑩**学びのアイテム**(今日のキーワード、はつとした友だちの意見、なるほどと思ったことなど)を使いながら学習の振り返りをする。

## 教師の留意点

- ④大きな字で、丁寧に書く。
- ⑤板書をしっかり写す。
- ⑥大切なところは色を変えて書く。
- ⑦線は定規を使って書く。
- ⑧プリントはノートに貼る。
- ⑨教師は書く時間を保障する。

・学びのアイテムが生まれるような授業。  
・子どもどうしでの交流・思考の流れを整理していく板書。

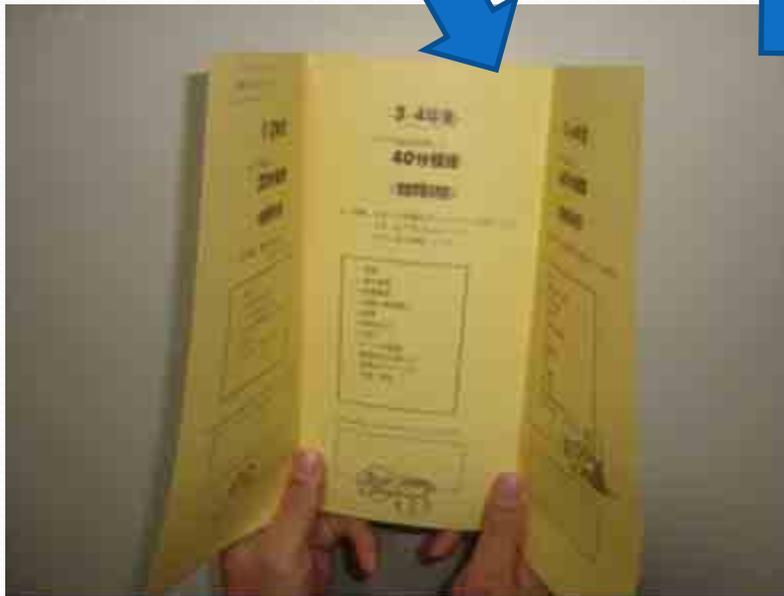


**1時間の板書計画**

## 「下田小学びのすすめ」の実践

**保護者の要望**

**全国学力・学習状況調査  
結果分析から職員より**



- 職員全員の意見を取り入れながら、作成。
- 三つ折りリーフレット。内側は児童用として、低・中・高学年別に時間・学習の内容を記載。外側は、保護者用に学習習慣のつけ方、お願い等を記載。

子どもたちに任せるのではなく、教師が積極的に関わっていくために……



- ノートのコピーを教室に掲示。
- 付箋や朱書きで、そのノートのポイントをわかりやすく。



## 推進校・下田小学校での成果

○**出口意識(言語活動)**を大切に

→学習の必然性、意欲の高まり。

○**場面読みからの脱却**

→文の前後から大切な文や言葉を見つける力へ。

○**複数の本を読み比べる**

→子どもたちが読みの視点を持つ。学び方を考える。

○**並行読書**

→子ども同士の交流・学び合いの場。

○教科書の学びを**活用する場**を設定

→習得した力をさらに定着。